

玉名市都市・地域総合交通戦略（玉名駅周辺）の策定

都市・地域交通戦略推進事業（所管：国土交通省、補助1/2 ※立地適正化計画策定のため）

本事業は、都市機能施設が集積する市中心部であり、在来線玉名駅は、1日当たり約5000人が利用する県北最大の重要な交通結節点となっている。しかし、駅のバリアフリー化が一部未着手、駅南北では道路網が分断しており、まちなかへの人や車の往来など利便性や回遊性において不十分である。このため「コンパクト・プラス・ネットワーク」をテーマに持続可能なまちづくりを実現するため市中心部の長期的な戦略目標を定める「玉名市都市・地域総合交通戦略」を策定する。

令和6年度の進捗状況

（1）骨格幹線道路の検討

①玉名駅の南北を接続する道路の平面交差の検討及び単独立体交差（アンダーパス1案・オーバーパス2案）の比較及び予備設計を実施する。現在、現地踏査・平面測量・道路予備設計の与条件協議が完了し、単独立体交差の比較及び予備設計業務を行っている状況である。

委託番号：玉市都委第9号

委託名：玉名駅付近鉄道立体交差に伴う比較検討業務委託
工 期：令和6年8月2日～令和7年2月28日まで

委託料：24,420,000円
受託者：JR九州コンサルタンツ株

令和7年度の計画

（2）関連調査の実施

①駅利用者調査の実施（北側・南側）

②駅利用者アンケート調査の実施

- ・駅利用の目的、交通手段、発着地、利用頻度
- ・駅利用者満足度（バスやタクシー、駐輪場、歩行者空間等）
- ・駅前広場整備へのニーズ等

③駐車場実態調査の実施（北側・南側）

- ・玉名市まちなかグランドデザインの対象範囲（A=約800ha程度）
を対象に、現地調査を行い、駐車場の実態調査を実施する。

（3）駅周辺整備計画の検討

①駅前広場基本計画（北側（最終形、暫定形）、南側）

- ・駅前広場の再整備に関する基本的な方針と配置案を検討する。配置にあたっては、交通処理が必要なバス・タクシー・一般車乗降・歩行者の交通量を「駅前広場計画指針」に基づき算定する。また、骨格幹線道路の整備時期を想定し、北側の駅前広場は道路整備前の暫定整備型と、整備後の2パターンの基本計画を作成する。
- ・駅勢圏の設計を行い、目標年次の駅勢圏人口、将来乗降客数を予測し、将来乗降客数を設定、その予測に基づいて、駅前広場の必要施設数、面積など規模を算定する。（駅前広場、駐車場、駐輪場、駅前ロータリー、待合所、エレベーターなど）
- ・駅前広場の配置計画案を3案作成し、概略比較検討を行い、課題抽出・整理を行い「基本計画」を策定する。※縮尺はS=1/500程度とする。

※駅勢圏とは、鉄道駅を中心としてその駅を利用すると期待され需要が存在する範囲のことである。鉄道の旅客需要を予測する手法として導入された概念である。

②南北を繋ぐ自由通路等の検討（鉄道の上空を跨ぐ通路・橋上駅など）

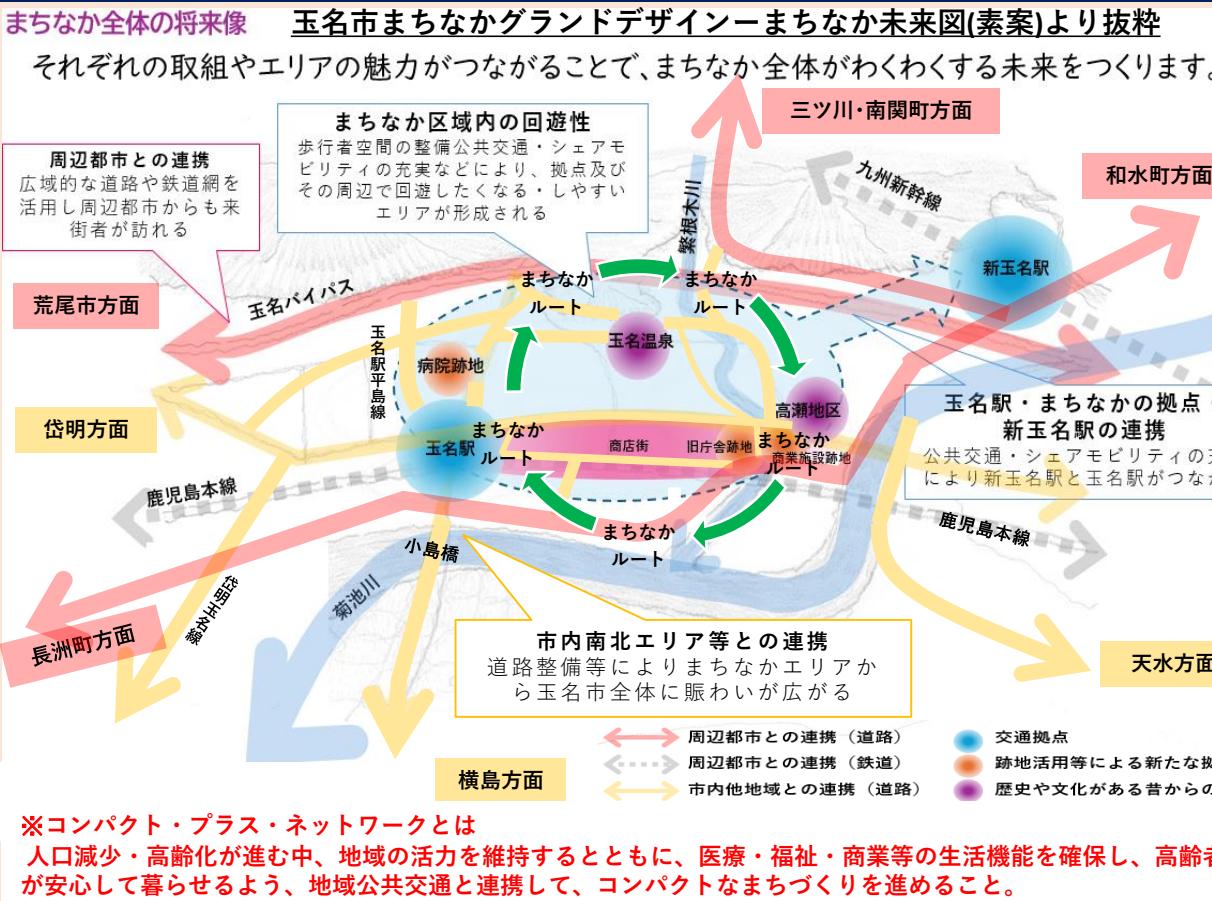
自由通路単独案、駅舎改築を伴う自由通路案（地平駅、橋上駅、2階建て駅舎案等）を複数案選定し、利便性、施工性、経済性等に着目して比較を行い、選定案について概算事業費の算出を行う。

③回遊性向上整備計画の検討 ※別途、回遊ルートを社会実験で調査

- ・まちなかの将来像の実現に向けた施策やそのロードマップを設定、今後のまちなかにおける道路が担う役割を整理し、回遊ルートの設定を行う。
- ・車の利用者が歩行系回遊ルート、ebikeや自転車等による中距離系回遊ルート、バスによる回遊ルートへ乗り換えるための駐車拠点の考え方と整備内容を検討する。

（4）とりまとめ報告書作成

①令和6年度から令和7年度業務内容を合せて報告書を取りまとめる。



※コンパクト・プラス・ネットワークとは

人口減少・高齢化が進む中、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進めること。

（総合交通戦略の目的）

総合交通戦略では、社会経済情勢の変化や集約型都市構造への再編に向けたまちづくりの取組として、まちの将来都市像を明らかにし、必要な都市交通、まちづくり施策を定め、多様な分野の関係施策間の連携を一層強化すると共に、地方公共団体、交通事業者、警察、市民等の関係者による一致団結した取組が総合的に展開される、いわば「総力戦」が求められる。

また、実施にあたっては、進捗や効果について管理・評価しながら、必要に応じて戦略を見直し、目的の達成に向けて継続的に施策を展開していくことが重要である。

のことから、関係者間の連携と役割分担による推進体制（協議会）によって、計画の策定や実施を行う体制を構築することを基本としており、本市では、まちなか未来プロジェクトを推進する全体構想や必要となる組織体制が条件を満たす「玉名市まちなか未来デザイン協議会」に、その検討・承認機関として位置づけ、交通戦略の実施の監理、評価、見直しなど行い推進する。

○概要

本事業は、都市機能施設が集積する市中心市街地にあり、在来線玉名駅は、1日当たり約5000人が利用する県北最大の重要な交通結節点となっている。しかし、駅のバリアフリー化が一部未着手、駅南北では道路網が分断しており、人や車の往来など利便性や回遊性において不十分である。

このため「コンパクト・プラス・ネットワーク」をテーマに持続可能なまちづくりを実現するため、中心市街地の長期的な戦略目標を定める「玉名市都市・地域総合交通戦略」を策定するものである。

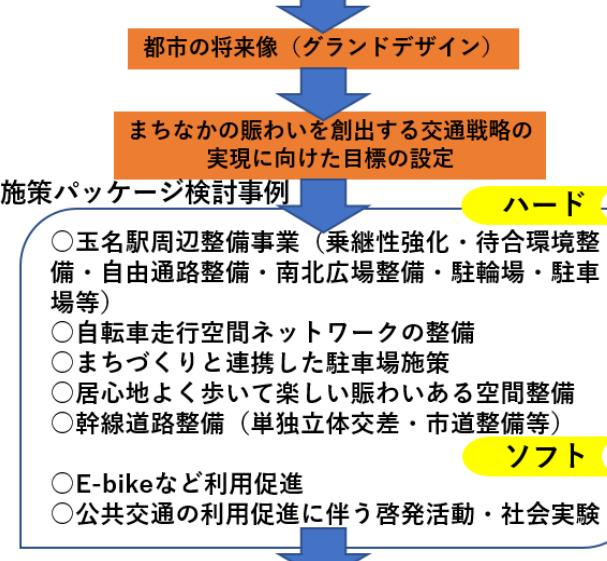
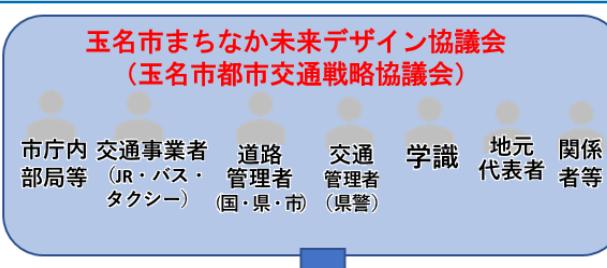
○事業期間：令和6年度～令和7年度

・R6年度

玉名駅の南北を接続する道路の平面交差及び単独立体交差の比較検討及び予備設計（4案：平面1案・アンダーパス1案・オーバーパス2案）の検討

・R7年度予定

駅利用者の実態調査、アンケート調査、玉名駅周辺整備に対する施設（道路・公共交通・南北広場・自由通路等）の機能強化や必要性などを概略の検討を行い、R6年度に策定した「まちなかの全体構想（グランドデザイン）」に即した公共交通とまちなかのまちづくりを連携させ、魅力的な都市空間を創出していく長期的な戦略を計画する。



※コンパクト・プラス・ネットワークとは
人口減少・高齢化が進む中、地域の活力を
維持するとともに、医療・福祉・商業等の
生活機能を確保し、高齢者が安心して暮ら
せるよう、地域公共交通と連携して、コン
パクトなまちづくりを進めること。

都市・地域交通戦略推進事業

・交付金 [社会資本整備総合交付金
防災・安全交付金]
・補助金

目的：人口減少・少子高齢化の対応や集約型都市構造への再編に向けた、多様な交通モードの連携による持続可能なコンパクトシティ、スマートシティ等の形成に向けて、民間の資金やノウハウを活かし、都市機能の集約を含めた都市再生や地域公共交通網の再構築、中心市街地の活性化を推進するとともに、子育てしやすく高齢者の暮らしやすいまちづくりを推進する。

○徒歩、自転車、自動車、公共交通など多様なモードの連携が図られた、自由通路、地下街、駐車場等の公共的空間や公共交通などからなる都市の交通システムを明確な政策目的の下、都市・地域総合交通戦略等に基づき、パッケージ施策として総合的に支援

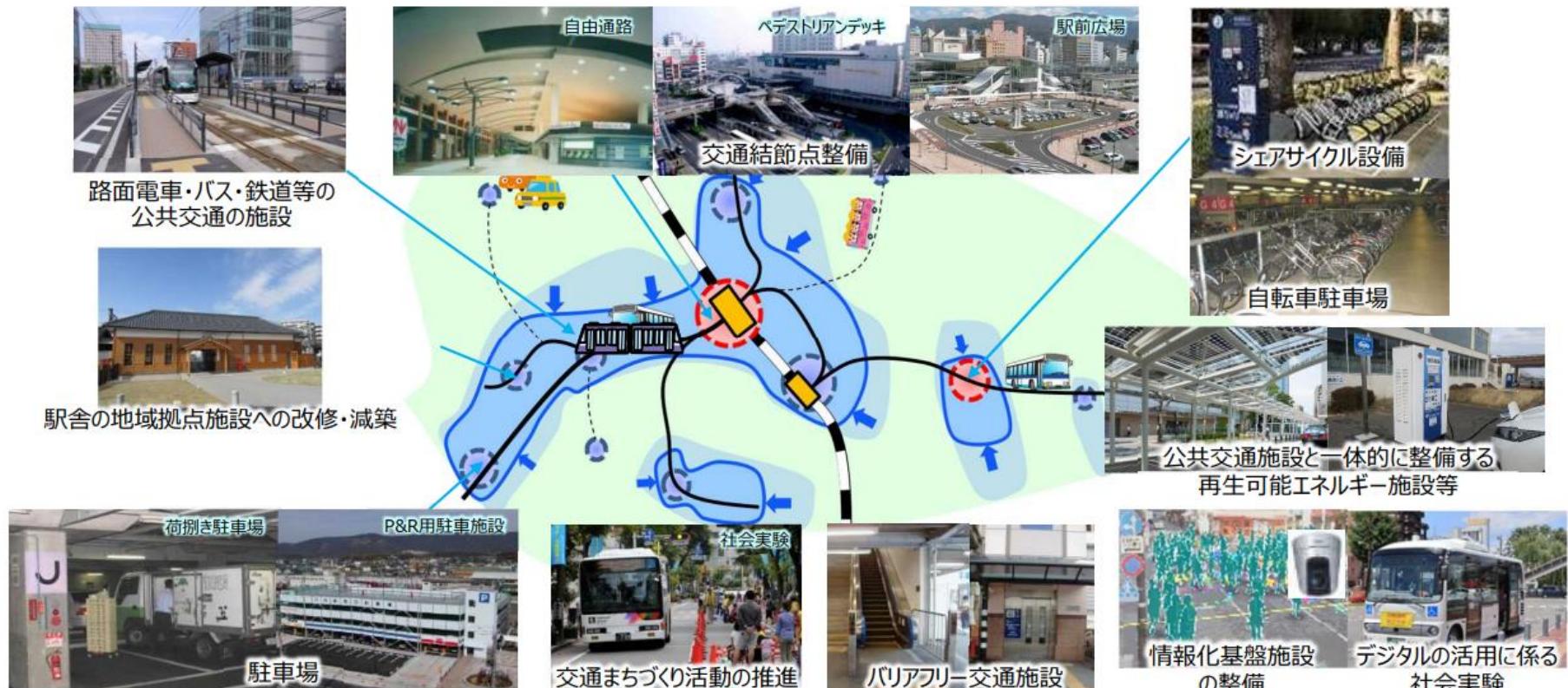
○補助対象者 交付金～地方公共団体※1

・補助金～法定協議会※2、都市再生推進法人、認定地域来訪者等利便増進活動実施団体、独立行政法人都市再生機構

※1 交付金については、地方公共団体からの補助金を受けて、民間事業者等（独立行政法人都市再生機構や特定非営利活動法人等を含む）も事業実施可能

※2 整備計画の作成に関する事業については、法定化を見据えた任意協議会も対象

○補助率：1／3、1／2（立地適正化計画に位置付けられた事業、滞在快適性等向上区域へのアクセス等に寄与する都市交通施設整備に係る事業、地区交通戦略に位置づけられた滞在快適性等向上区域等で行われる事業、脱炭素先行地域において実施する事業）



他市先行事例



事業費は最大47億円】駅周辺整備で基本計画案/飯塚市

(R4)2022-02-03

福岡県飯塚市は、飯塚駅周辺地区整備基本計画の素案をまとめた。JR飯塚駅を中心とした菰田・堀池地区の163haを対象に、駅東西を結ぶ自由通路や東西駅前広場、アクセス道路、公園などの整備を計画する。概算事業費は最大47億円

素案によると、道路や公園、駅前広場整備事業などを展開し、都市機能の充実と交通結節機能の強化による市街地のコンパクト化、駅周辺の利便性や回遊性の向上、駅東西の一体整備によるにぎわい創出を図る。

道路事業は、駅周辺の交通混雑解消のための西町天道線の交差点改良、歩道の新設、駅北側の桜ヶ丘踏切の改良などを進める。

公園事業では、菰田西公園1300m²を改修し、菰田堀池公園（仮称）2800m²を新設する。

駅前広場整備事業では、自由通路・駅舎、東西駅前広場などの整備を計画する。

自由通路は、駅舎の建て替えに合わせた一体整備を想定。

駅舎は、「2階駅」と「両側改札」の2タイプ、規模は現状の3分の1となる100-200m²が望ましいとした。景観やコストなどを引き続き検証し、JR九州と最終案を決める。

駅前広場の面積は、西口が5857m²、東口が854m²とした。西口駅前の炭都ビル跡地1399m²は、民活用地として活用を検討する。

事業費の内訳は、旧卸売市場周辺道路5億-6億円、西町天道線1億-1億5000万円、桜ヶ丘踏切5000万-1億円、菰田堀池公園（仮称）1億-1億5000万円、菰田西公園5000万-1億円、駅前広場（駅舎・自由通路を含む）28億-36億円。旧卸売市場周辺道路と西町天道線、菰田堀池公園（仮称）は22年度の着工、このほかは24年度の着工を予定している。

国土交通省の「都市構造再編集中支援事業交付金」を活用する。飯塚駅周辺地区は22年度の新規地区の指定を受けており、交付金額は約20億円を見込む。

2024.06.01 広報紙 福岡県飯塚市

飯塚市は、中心拠点の一つである菰田・堀池地区のまちづくりを進めますため、令和4年3月に「飯塚駅周辺地区整備基本計画」を策定、各種整備を行っています。

このたび、飯塚駅舎・自由通路及び飯塚駅東西駅前広場の再整備デザインが決定、令和8年度中の供用開始に向け、工事を進めていきます。

■再整備によって「飯塚駅」はどう変わるの?

▽今後の再整備の内容

- ・従来の西側(西口)だけでなく、東側(東口)にも駅前広場を創設します。
- ・西側には駐輪場・駐車場・公衆用トイレ、東側には駐輪場を設けます。
- ・線路を跨ぎ東西駅前広場を結ぶ、エレベーターを備えた自由通路を設けます。
- ・旧菰田保育所敷地を活用し、菰田西公園の改修整備を行います。
- ・交通環境改善のため城ヶ崎踏切や桜ヶ丘踏切の改良を行います。

お問合せ：都市計画課 飯塚駅周辺整備推進室

【電話】0948-96-8477

飯塚市の人口124,175人

世帯数64,204世帯

他市先行事例

飯塚駅周辺地区整備基本計画の概要

■ 計画の背景と目的

飯塚市では、中心拠点と地域拠点に必要な機能を集約し、拠点間を公共交通機関で結ぶことにより相互に補完して生活の利便性を高めていくことを目指しています。市の中心拠点の一つであり、飯塚駅が位置する菰田・堀池地区では「菰田・堀池地区活性化基本方針」を平成30年12月に策定し、「交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり」をまちづくりのコンセプトとして定めています。この基本方針に沿い、更に方向性の実現に向けた計画として、「飯塚駅周辺地区整備基本計画」を策定しました。

本計画では、飯塚駅舎を含む自由通路及び飯塚駅東西駅前広場、飯塚駅周辺地区内の道路、公園について整備内容を定めており、本計画に沿って、飯塚駅周辺地区的活性化を図る整備を推進します。

■ 飯塚駅および周辺地区的現況

飯塚市の中心拠点の一つに定めていますが、高齢化や人口減少等によりかつての賑わいが失われつつあります。また、空き店舗や空き地等の発生により市街地の低密度化が進んでいます。

バリアフリー化が進んでおり、拠点連携のまちづくりを進めるため、持続安定的な公共交通ネットワーク及び交通結節点としての機能の確保・維持、バリアフリー化の推進など、歩行者にやさしい空間の創出が求められています。

<飯塚駅周辺地区的道路>

堀池交差点（国道201号飯塚庄内田川バイパスと西町天道線の交差点）は、慢性的な渋滞が発生していて、国道201号八木山バイパスの4車線化や大規模集客施設の立地により、更に交通量が増加することが予想されます。

市道卸売市場2号線及び3号線は、歩道が未整備のため、歩行者にとって危険な状況となっています。

<飯塚駅周辺地区的公共交通>

公共交通は鉄道（JR福北ゆたか線）と、駅の近くを通る民間路線バス（西鉄バス）と市のコミュニティバスです。現在は民間路線バス、コミュニティバス共に、飯塚駅の駅前広場内への乗り入れはありません。

飯塚駅周辺地区整備計画

■ 目標

- 1 飯塚駅を拠点とした都市機能の充実と交通結節点機能強化によるコンパクトな市街地の形成
- 2 移動等円滑化促進地区である飯塚駅周辺地区的バリアフリー化を進め、回遊性、利便性及び安全性向上
- 3 飯塚駅東西アクセスを強化し、駅東西の一体整備による活性化及び賑わいを創出

■ 整備構造

- 1 中心拠点にふさわしい交通結節点の利便性及び安全性の向上
- 2 すべての人が円滑に移動できる安全・安心なまちづくり
- 3 未利用市有地の有効活用と快適な都市機能整備による賑わいの創出

■ 事業展開

まちづくりの目標実現のための道路事業、公園事業、駅前広場整備事業を進めるとともに、旧卸売市場敷地への大規模集客施設立地等地域の賑わいの創出（民間活力）を進めます。

■ 課題

飯塚駅周辺地区の主な課題は、以下のとおりです。

- (1) 中心拠点の地区にふさわしい交通基盤の充実
- (2) 飯塚駅の交通結節点としての機能強化
- (3) 飯塚駅東西の分断の解消や地域の拠点として賑わい空間の創出
- (4) 共生のまちづくり実現に向けたバリアフリー化
- (5) 交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくりにおける民間活力の活用

■ 飯塚駅周辺地区整備計画の対象範囲

飯塚駅周辺地区整備計画の範囲は、飯塚市立地適正化計画の居住誘導区域と都市機能誘導区域と本地区の課題を踏まえ、図に示す範囲（面積=163ha）に設定します。



交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり

飯塚駅周辺地区の整備構想

道路	中心拠点にふさわしい交通結節点の利便性及び安全性の向上	すべての人が円滑に移動できる安全・安心なまちづくり	未利用市有地の有効活用と快適な都市機能整備による賑わいの創出
公園	・中心拠点にふさわしいアクセス道路の整備 ・歩行者の安全・安心な移動や、賑わいに繋がる歩道の新設整備	・円滑で安全な移動に資する踏切の改良等整備	・未整備の公園整備による新たな地域交流の拠点づくり ・保育園跡地と既設公園の一体的整備による地域拠点の充実

駅前広場	自由通路・駅舎	駅舎・自由通路のバリアフリー化
・西口駅前広場の交通結節点としての機能強化に必要な配置計画 ・東口駅前広場の新設計画 ・駐輪場・駐車場等利便性向上を図る配置計画	・駅舎・自由通路のバリアフリー化	・利用者が滞留するエリアの設置 ・訪れる誰にも親切な施設配置計画 ・シェルターやトイレなど快適な利用のための施設計画

駅前広場	自由通路・駅舎	駅舎・自由通路のバリアフリー化
・沿線鉄道駅との連携	・自由通路・駅舎の動線整備による利便性向上	・駅舎・自由通路のバリアフリー化

地域の賑わいの創出	自由通路・駅舎	駅舎・自由通路のバリアフリー化
・沿線鉄道駅との連携	・自由通路・駅舎の動線整備による利便性向上	・駅舎・自由通路のバリアフリー化

道路

周辺施設へのアクセス性と地域の安全性、利便性向上のため、交差点改良や歩道整備及び一部無電柱化等を行います。

中心拠点にふさわしいアクセス道路の整備

<旧飯塚市地方卸売市場跡地周辺道路>

市道卸売市場2号線、市道卸売市場3号線、市道鶴三緒・徳前線

大規模集客施設の誘致で交通量の増加が見込まれるため、道路改良と交差点改良および区画線設置を行います。

<堀池交差点>

国道201号飯塚庄内田川バイパスと接道する道路交差点

渋滞緩和のため、西町天道線の堀池交差点付近の交差点改良等の道路整備を行います。

歩行者の安全・安心な移動や、賑わい創出に繋がる歩道の新設整備

大規模集客施設の周辺道路整備では歩行者が安全・安心に移動できると共に、人の移動による賑わい創出に繋がる歩道の新設を行います。

円滑で安全な移動に資する踏切の改良等整備

飯塚駅北側に位置する桜ヶ丘踏切改良事業では、踏切を安全に横断できるよう、段差・不陸を解消する整備を行います。



現況（渋滞状況）



市道卸売市場2号線現況



整備イメージ

公園

飯塚駅周辺地区と合わせて整備します。

回遊性、利便性及び安全性の向上を図り、更には高齢者や障がい者及び観光者等、誰でも快適に利用できるようバリアフリー化を行い、地域イベント等でも幅広く活用できる地域交流の拠点づくりを行います。

未整備の公園整備による新たな地域交流の拠点づくり

<西菰田公園【菰田堀池公園（仮称）】>

西菰田公園の計画を飯塚駅から徒歩圏内の地域住民だけでなく、駅利用者も気軽に利用できる場所に再配置することで、交流人口の増加、回遊性の向上、地域交流の中心拠点としての憩いの場の形成など、地域活性化に繋げる整備を行います。

<菰田西公園>

西菰田公園と連動して飯塚駅周辺地区的回遊性、利便性及び安全性の向上を図るとともに、利用状況を考慮した改修を行います。

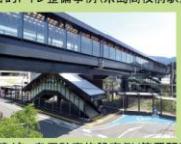
他市先行事例

駅前広場（自由通路・駅舎を含む）

交通結節点強化や利用者等の交流空間の形成を図り、利用する人、訪れる人が快適に利用できる自由通路・駅舎と駅前広場の整備を計画します。

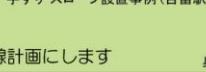
シェルターやトイレスなど快適な利用のための施設計画

- 東西両方の駅前広場で自由通路入口や駅舎から乗降場まで、シェルター設置を計画します
- 快適な駅及び駅前広場利用に配慮して、多目的トイレの西口広場への設置を計画します



バリアフリーに配慮した施設計画

- 西口駅前広場は、身体障がい者の乗降場を駅舎に近い位置に計画します
- 歩道の幅員は歩行者等が安全に通行できる幅員を計画します
- バリアフリー化に必要な施設を計画します



安全な歩行者動線を実現する施設計画

- 横断歩道から乗降場等までは離隔を5m以上確保する計画とします
- 駅前のアクセスで、歩行者が道路を横断する回数が最低限となる動線計画とします

東口駅前広場の新設計画

- 一般車の乗り入れができるロータリーを計画します
- 自由通路に近い位置に、一般車乗降場を配置します



自由通路整備計画

- 自由通路の幅員は車いすを押して歩く人が、2人で話しながら歩く人とすれ違うことができる幅員として屋根・壁を設置します
- エレベーターの規模は、バリアフリーの基準を考慮します



駐輪場・駐車場などの利便性向上を図る配置計画

- 西口広場には自転車、原付バイクの駐輪場を配置します
- 東口広場にも自転車の駐輪場を配置します
- 西口広場にコインパーキングの整備を計画します



駅舎整備計画

- 駅の東側・西側両方の駅利用者の動線が短くなる計画とします
- 駅舎のバリアフリー化を進めます



西口駅前広場の交通結節点としての機能強化に必要な配置計画

- 大型バスが広場内で旋回できる大きさでロータリーを計画します
- 駅の南北の生活道路からの駅前広場への接続に配慮した計画とします
- 利用が多い一般車の乗降場、タクシー乗降場を配置します
- タクシーの待機場を配置する計画とします

西口駅前広場

駅前広場（自由通路・駅舎を含む）の配置は決定したものではなく、実際とは異なるものになります。具体的には今後の設計で決定していく予定です。



利用者が滞留するエリアの設置

- 利用者が滞留し、駅前に賑わいが創出できるスペースを計画します（ベンチの配置など）
- 修景や緑陰ができるよう植栽を計画します



訪れる誰にも親切な施設設置計画

- 情報表示板を東口、西口両方の駅前広場に設置する計画とします



完成イメージ(飯塚駅西口側)

※現時点の施設配置イメージを表現したものであり、今後変更になる可能性があります。



完成イメージ(飯塚駅東口側)

※現時点の施設配置イメージを表現したものであり、今後変更になる可能性があります。

事業の進め方

飯塚駅周辺地区整備計画は、下記のスケジュールで整備を計画します。

なお、スケジュールはおおよその目安であり、事業の進捗状況や関係機関との協議・調整により、変更が生じる可能性があります。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市場周辺道路整備	設計	工事				
西町天道線	設計	工事				
菰田堀池公園整備（仮称）	設計	工事				
菰田西公園整備				設計	工事	
駅前広場整備（自由通路・駅舎含む）		設計			工事	
桜ヶ丘踏切改良			設計	工事		